

焼岳の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

<噴火警戒レベル2（火口周辺規制）が継続>

3月14日に実施した上空からの観測では、山頂付近の噴気の状態に特段の変化は認められませんでした。

防災上の警戒事項等：

想定火口域から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

○概況

3月14日に岐阜県の協力により実施した上空からの観測では、以前から噴気が認められている岩坪谷噴気孔、北峰南噴気孔及び隠居穴噴気孔で噴気が認められました。これらの噴気孔を含め、山頂付近の噴気の状態に特段の変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

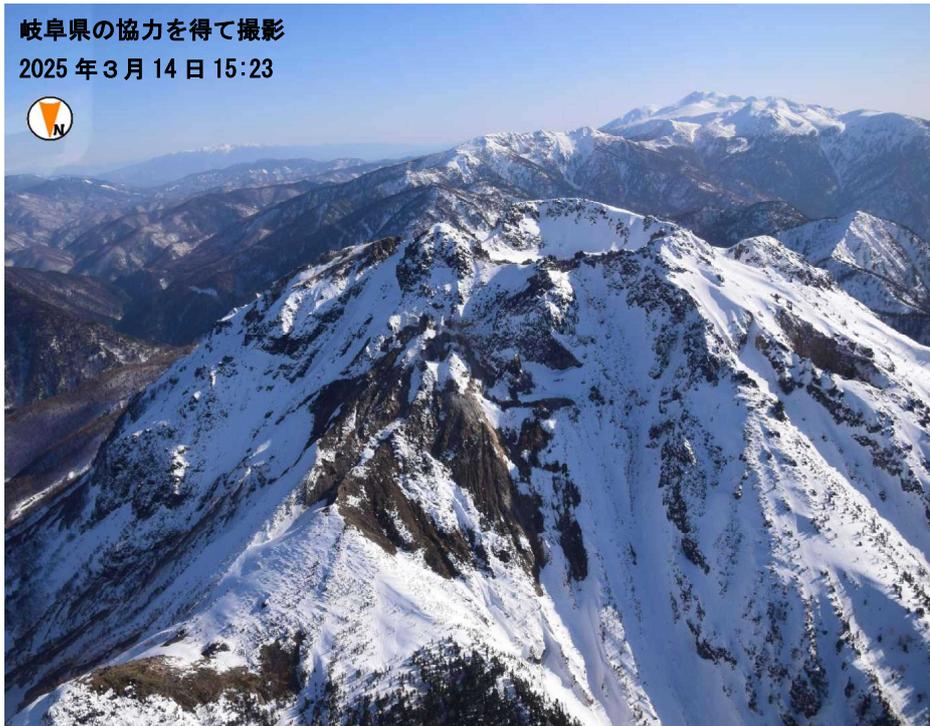


図1 焼岳 北側斜面の状況（3月14日）

- ・ 3月14日に実施した上空からの観測では、明瞭な噴気は認められませんでした。



図2 焼岳 東側斜面の状況（3月14日）

- ・ 3月14日に実施した上空からの観測では、北峰東側で明瞭な噴気は認められませんでした。



図3 焼岳 黒谷火口の状況（3月14日）

- ・ 3月14日の観測では明瞭な噴気は認められませんでした。



図4 焼岳 岩坪谷噴気孔の状況（3月14日）

- ・ 3月14日の観測では噴気が認められました。



図5 焼岳 山頂部の状況（3月14日）

・ 3月14日の観測では、北峰南噴気孔及び隠居穴噴気孔で噴気が認められました。



図6 焼岳 主な噴気孔・地熱域位置図